

木製浴槽の施工マニュアル

浴槽は、木の呼吸をそこなわなければ長持ちしますので、通気性をよくする構造にすることをお勧めします。

1. 搬入経路の確認

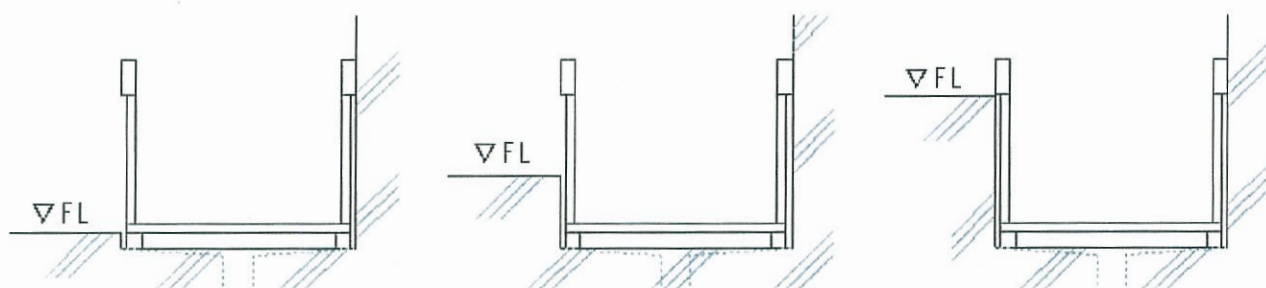
浴槽は建築工事が完了してからも設置できますが、搬入する場所の開口と浴槽のサイズをご確認ください。

2. 設置方法

① 据え置き施工

② 半埋め込み施工

③ 全埋め込み施工



※ 浴槽への出入りのしやすさから半埋め込み施工が一般的です。

3. 浴槽ピット

ピットの大きさ → 縦・横共に浴槽寸法より10mm位広くします。

ピットの深さ → 排水管の高さによります。床面は水流傾斜をつけます。

排水口の位置 → 一般的にカラン側につけます。

4. 据付

ピットの四周に浴槽の台木の位置に合わせ支持点間隔約50cm以内の水平なベースをつくり、(モルタル、レンガ等)モルタル硬化後浴槽を設置して、排水栓への勾配を確認します。

浴槽と洗い場の床に接する部分は、約10mmの隙間を開けてください。浴槽廻り、下部の空気の流れをよくすると、腐りにくく長持ちします。

隙間埋めのためのコーキングは行わないでください。(浴槽の腐食が速く進みます。)

5. 養生

据付が完了しても、工事が完了するまで、浴槽をダンボール等で十分保護してください。



6. 浴槽の施工、取り扱い上のご注意 ※必ずお読み下さい

- ① 梱包してあっても取扱いは丁寧に行ってください。
- ② 狭い場所への搬入には毛布等で養生してください。
- ③ 据付時に、浴槽にモルタル等を付着させない様にしてください。(変色の恐れがあります。)
- ④ 湯水を浴槽に入れる際、配管の油、汚れが無いことを確認の後、入れてください。